
ガタ
くっくく…
来るなッ！
バケモノ！
ガタ
どうしたの…？
何で逃げるの…？
上条君…♡
昨日はあんなに
私の事求めてたのに…
私たち…
恋人同志だよね…？
一緒に
気持ちいいこと
しようよ♡
死なない程度に
いっぱい
搾り取って
あげる…♡
うわぁーっ！


もう…私
お腹ペコペコ
なの♡
上条君の全部
ちょーだいっ♡
それっ♡
じゅぷっ♥
ずちゃっ♥
ぢゅっ♥
うっ
ねぇ…
本当に好き
だったんだよ？
私…
初恋だったのに…
何であんな
ひどいことするかなぁ？
体が…
動かない…っ
許してくれ…
奏…
ぢゅっ♥
ずちゅっ♥
はぁ
はぁ
ぬぷっ♥
え～？
絶対許すわけ
ないじゃん
私って
結構根に持つ
タイプだしっ♡


上条君のビクンビクンってしてる♡
私の中そんなに気持ちいいの？
ハッ
ハッ
ジュプッ
ハッ
ハッ
うぅ…っ
あぁ…
ねぇ…
気持ちいいんでしょ…？
あんっ
あんっ
あっ
た…っ助けて…
ちょっとぉもうダメなの？
レイプしようとしてたくせに期待はずれだなぁ…
ずぷっ…
もっとサルみたいに腰振りなさいよっ！


人間としても
男としても
ホント情けない人
こんな人間と見抜けず
愛してしまった
私も情けないけど
はっ
はっ
こんな…情けないモノ
全部搾り取って…
あげる…っ
んぅふうっ♡
熱いのキタぁ♡
すご～いっ♡
いっぱい
出たね♡
これだけ出せば
もう未練はないね…♡


もう…
やめてくれ…
タマタマの中
全部搾り
とっちゃったから
もうこのちん○ん
必要ないんじゃない？
だからねっ
情けない上条君に
最適な体に
してあげるっ♡
髪が…？
あぁ…
あ…んっ
んっ！
ああぁぁ！
んぁっ
なっ…
なんだ
これ…
むにっ♡♡


どう…？
女の子になってみて…
襲う側じゃなくて
襲われる側に
なっちゃったね♡
上条君ってさ
女の子の気持ちを
全然理解して
ないから
私の気持ち…
ちょっとは理解
できるかもよ
ひゃっ！
ズッ
ちゅ…
今日からは
沢山の男たちを
抱かないと
いけないからね
ちゃんと
ここは機能
してるかな？
ちゅっ♡
ちゅっ♡
あ…♥
ふふ…♡
もうすっかり
女の子だね♡
ビクンビクン
はぁ…
はぁ…


かなでぇ…
何でこんな酷いことするんだよ…
はーっ
ポロ…
ポロ…
はーっ
ちょっと
魔が差した
だけじゃねぇかよ…
へぇ…
まだそんな戯言が言えるんだ
しつけが足りないのかな…
ひっ！
そそっそ
そんなこと…
言うなよ！
俺たち
愛し合ってたはずだよな！
ふざけないでよっ！
愛していた彼女に
何で集団レイプしようとしてたのよ！
魔が差したとか
信じられないんだけど！
ホント
何なんコイツ
いらつくなぁ…
喋れば喋るほど
墓穴を掘ってるの
気が付かないかなぁ


まぁ
いいわ…
あなたの
お友達を
待たせてるのっ♡
パイオツ
何でって
そんなの
決まってるじゃん
この前私の事レイプ
できなくて
寂しそうだったから
記憶をちょっと
いじってみたの♡
くすっ
まっ
的場…!?
お前…
なんで…
ほうっ的場君
かわいい女の子が
あなたの事
誘惑してるわよ♡
男の子なら
その後は
分かるよね♡
ほうほうっ
早く♡
ハァハァ


んんんっ♡♡♡♡♡♡
びくっ
びくっ
りっ♡
きゅんっ♡
ぢゅんっ♡
はあっ♡


やめろぉ！
俺は男だ！
目を覚ませよ！
俺は男と
ヤる趣味はねぇ！


おうおう
良ぃねぇ～
んーっ
気の強い
女は大好き
だよっ
仲良く
楽しもうぜ！


ほらほらっ
ここが気持ち
いいんだろ？
やめ…っ
りっ♡
りっ♡
りっ♡


乳首が…
なんでこんなに
気持ちいいんだよ…
力が入んねぇ…
あぁあぁ
あらッ
ぁあ
ぁあらッ♡
ひっ♡


そこ…は…
さわっ…
さ…触るっな……
やっ
やめろ…
お願いだから…
指を入れられた途端
一瞬で頭が
真っ白になった…
全身が性感帯だね
俺の指でこんなに感じてくれるなんて嬉しい♡
ちっ
ちが…う
あっ♡


離せよっ！
離せって！
ハーッ
ハッ
あぁんっ♡!!
やめろぉ！
抜いてくれぇ！
クスクス…
堕ちろっ
堕ちろ♡

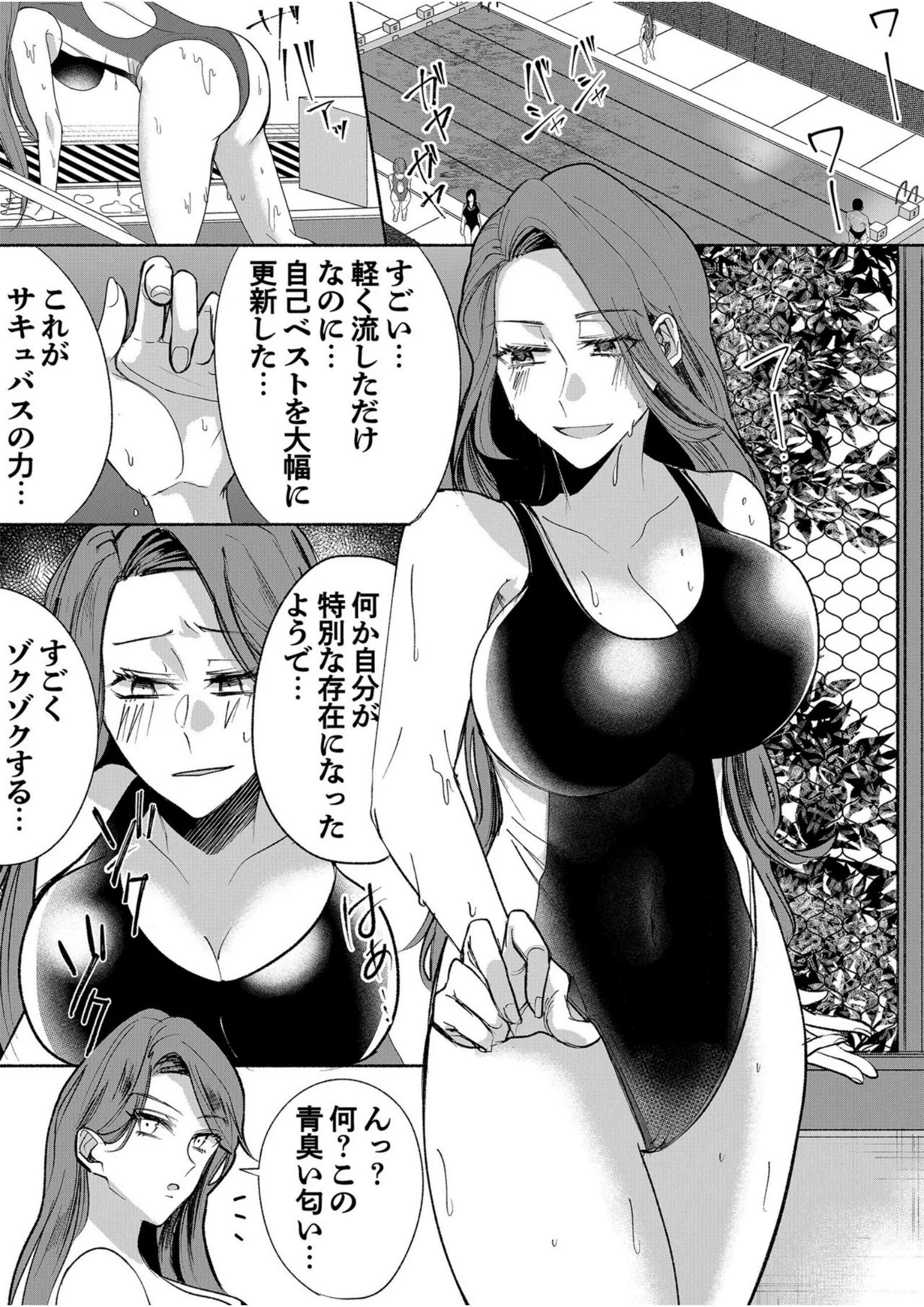

ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

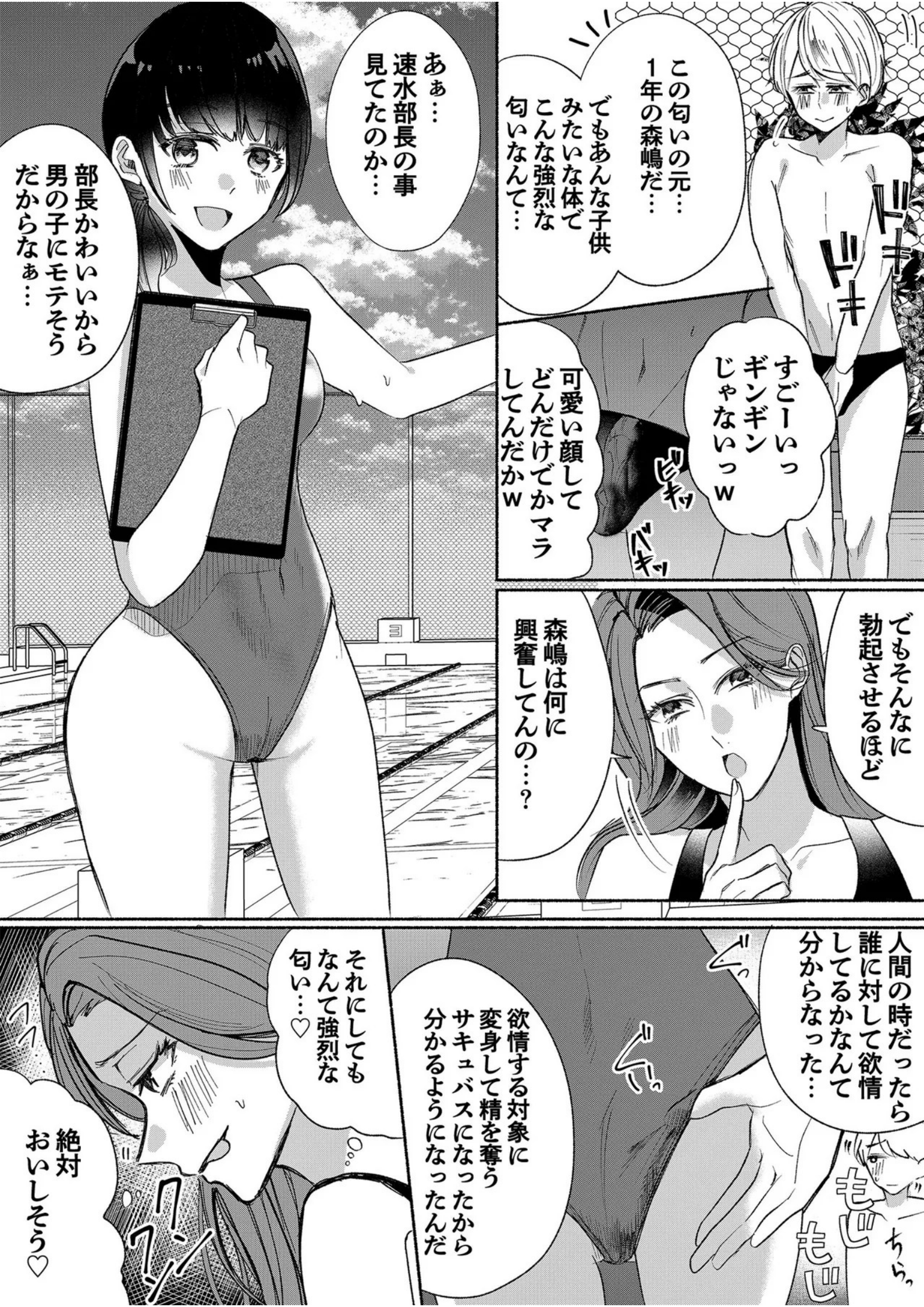

上条く～ん？
生きてるぅ？
ホント
情けない
男ね
まぁいいわ…
私が立派なメス豚に
育ててあげるから
復讐は始まった
ばかりだから
覚悟なさい♡


うぅんw
二人がここで何かやってたからちょっと覗いてみたけど…
小島さんってこんな性格だったんだ…っ
目が離せなくなっちゃって…ついオ○ニーしちゃったけど…
見つからないうちに逃げなきゃ…
んっ？
やば…っ
あれ～？サラちゃんこんな所で何をしてんのかなぁ～w
もしかしてオ○ニーしてたのかな？
ひっごめんなさい！


どどどどっど
どうしよう！
っていうか
小島さんの格好
エロすぎっ
なんだ
サラちゃん
言ってくれれば
混ぜてあげたのに
それとも
して欲しかった？
なでなで
けけっ
結構です！
ひとりで
できます！
ありがとね
サラちゃん…
サラちゃんの
お陰でアイツに
復讐できた…
サラちゃんが
サキュバスに
してくれた
お陰だよ


まっ待って！
小島さん…っ
ぴゃっ
くっ…
苦しいいいい…
だめだって…
サキュバスの力で
抱き締めちゃ…
うぶぶぶ…
おー
よしよしっ
サラちゃんは
かわいいねぇ…
いつ
息が…
し…
死ぬ…
あっ
ごめんごめんw
苦しかった？
チーン…
私ちゃんと
サラちゃんの眷属として
頑張るねっ！
私…
サキュバスになって
本当に幸せだよ！
それに…
すっ…
上条っていう
おもちゃも
見つけたしね♡
おもちゃって…
こっ
怖えぇ…


ワーワー
バシャバシャ
ガヤガヤ
ハアッ
すごい…
軽く流しただけなのに…
自己ベストを大幅に更新した…
これがサキュバスの力…
何か自分が特別な存在になったようで…
すごくゾクゾクする…
はあ…
ゾクゾク
んっ？
何？この青臭い匂い…
ニヘ


この匂いの元…
1年の森嶋だ…
でもあんな子供みたいな体でこんな強烈な匂いなんて…
ドキ
ドキ
すごーいっギンギンじゃないっw
ビキッ
バキッ
可愛い顔してどんだけでかマラしてんだかw
あぁ…速水部長の事見てたのか…
部長かわいいから男の子にモテそうだからなぁ…
でもそんなに勃起させるほど
森嶋は何に興奮してんの…？
人間の時だったら誰に対して欲情してるかなんて分からなった…
もじ
もじ
ちらっ
欲情する対象に変身して精を奪うサキュバスになったから分かるようになったんだ
それにしてもなんて強烈な匂い…♡
絶対おいしそう♡


サキュバスの力で速水部長に変身して誘惑すればあのでかマラは私のモノ…♡
ほしい…森嶋が欲しい…♡
もじ
もじ…
あんなイカ臭くてでかいち〇こはめたらチョー気持ち良いんだろうなっ♡
独り占めしたい…私だけのペットにしたい…♡
ピクッ
くんくん
あれっ？
森嶋とは別の匂いが混じってる？
森嶋と同じくらいに強烈な…
部長おつかれぇ～
部活終わったらさカラオケ寄ってこうよっ！
キャッ
もうクタクタでストレスマックスだよぉ～
はあーッ♡
はあーッ♡


えっ？えっ？
もしかして
速水部長って
女の子が好きなの？
それにこの
強烈な匂いっ
部長ってどんだけ
性欲が強いの？
あれっ…？
部長の後ろに
見える霧が…
女の子になって…
欲情しているときに
現れたあの女の子…
もしかして…
あの子が
もしかして…
速水部長…
えっ？
キッ


えっ？
さっ
涼香（さやか）？
何で
ここにいるの？
どうしたんです？
部長…
突然大きな声出してっ
あ…あのっ
わたし…っ
ごっ
ごめんなさい！
やっぱり…♡
だったら
わざわざ私が
変身しなくても
部長を利用すれば…


はぁ…
速水部長…
今日も可愛かったなぁ…
ずっと
見ていたかった…
あっ
あれ…？
急に…
力が…ぬけ…
な…んで…
あ…あぁ…
倉崎先輩！
よっ
恋する
少年っw
すご～いっ
平常時でも
結構
大きいんだ♡
もうっそんなに
大きいち〇こ
持ってるなら
早く言ってよw

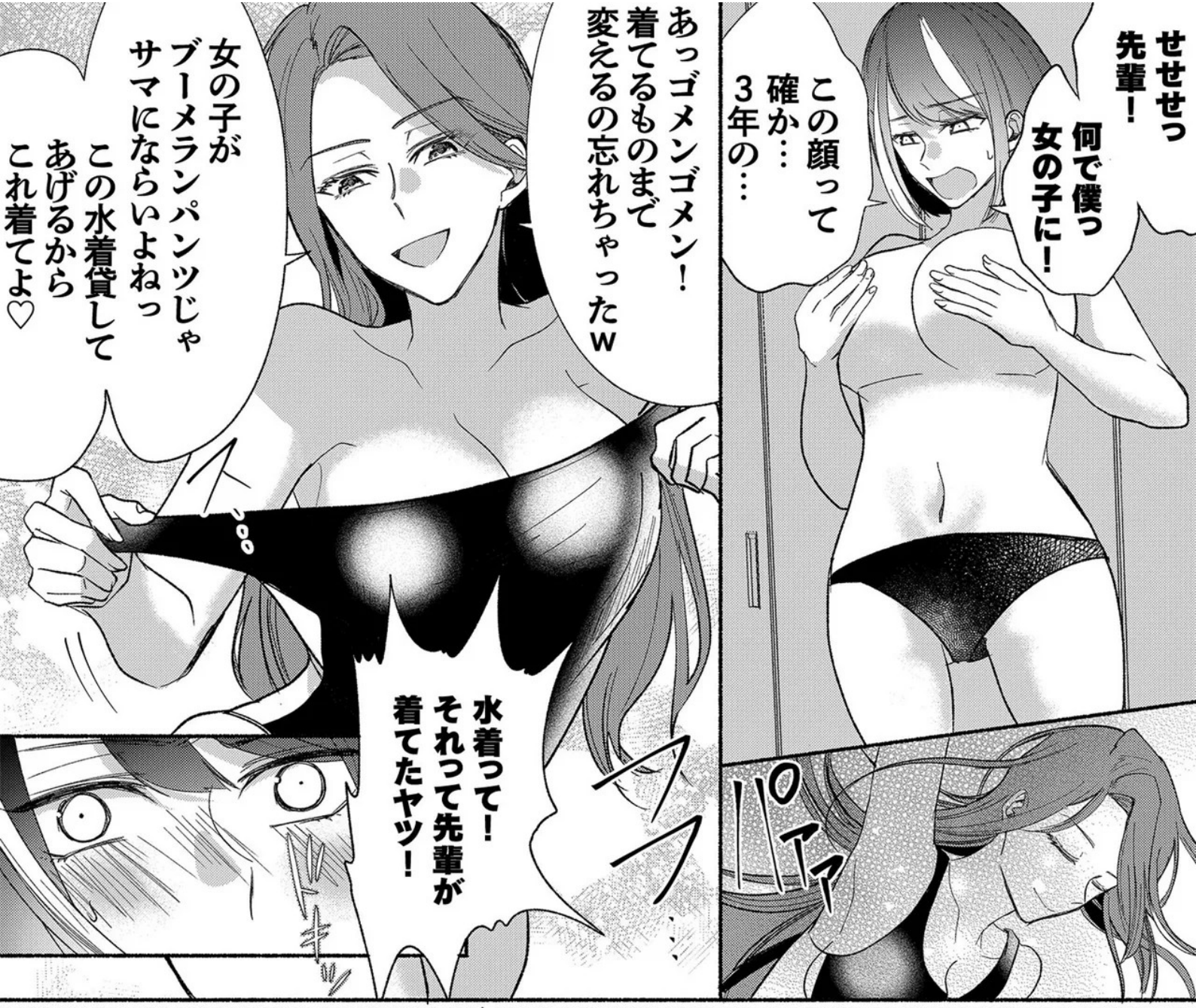

ちょっ
ちょっと待って
下さい！先輩！
ここ男子更衣室
ですよっ！
何で先輩が
いるんですか！
大丈夫だってw
誰も来ないからっ
ぐっぐっ
わぁ
すごっ♡
超いい
匂い…♡
もう…ダメ…
我慢でき
ない♡
ビクッ
ぱっ
せんぱっ…
ダメ…！
びくっ
何がダメなのよっ
こんなギンギンに
立たせといてw
ほらっ早く
金玉にため込んだ
臭いザーメン出しなさい♡
やっ…
あっ…
あっ…！
ああああっ!!
あ゛あ゛あ゛っ

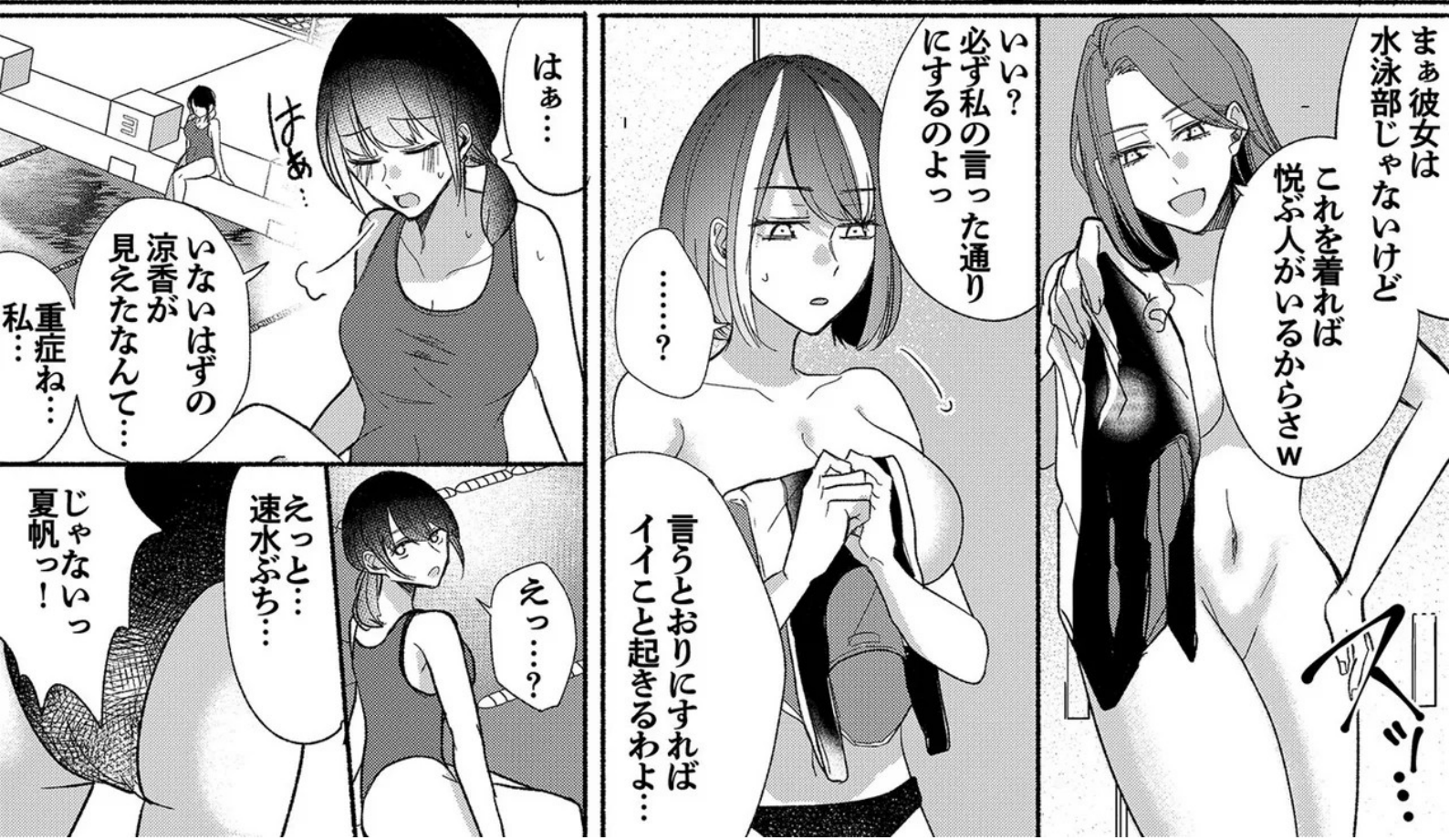

すっ
すごぉ…♡
どくっ…♡
くっ
倉崎先輩…？
ハーッ
ハーッ
いっぱい
出しちゃって
すみません…
ハーッ
何言ってんの
森崎！
濃くて大量で
想像した通りの
スペシャル精液♡
むしろ
ご褒美だよ♡
はーっ♡
はーっ…
あれだけ出したのに
全く萎えない
この逞しさっ
蕩けそうな
この匂いっ
びくっ
ハーッ
ハーッ…
もうこのち〇こ
誰にも渡さないわ♡


せっ先輩…っ
もういい加減に
してください！
ぷっ
ちゅぷっ♥
本当に誰か
来ちゃいますよ！
何で僕こんな
ことになって
るんですか！
ったく
イイところ
だっつーのにっ
じゅるっ
まっ
お前だったら
話してもいっか
おまえさっ
絶対誰にも
いうなよ！
絶対にっ
言ったら
おしおきだぞっ
ドンッ
えっ？
えっ？
私って実は
サキュバスなんだっ
まぁ
新米なんだけどね♡
ハアハアハア


お前さっ
ちょー気に入ったから
私のペットにしたげる
私もその対価として
お前に沢山気持ちいい
思いをさせて
あげるから♡
私からの条件は
好きな時に
好きなだけ
セ○クスさせて
欲しいだけ
その代わり
私からは
お前の大好きな人の
恋を成就させてあげる
バキッ
どう…？
悪くない
条件だと
思うんだけど
こんな美人の
先輩と毎日
セックスできて
更に好きな人と
両想いに
なれるんだぞっ
こんな
チャンス
もう二度と
ないよ
えっと…
本当に好きな人と
両想いに
なれるんですか？
その…
倉崎先輩が
そういうなら…
命と引き換え
みたいな
怖い話じゃないし…
契約成立ね♡
ホント
話が速くて
助かるわ♡
えっ？


あぁあっ♥
びくんっ
おぉ♥
ぶるんっ
むにっ
ん…♥
びくっ…
しゅるるっ
ぱくっ
あっ♥
ちゅんっ♥
ちゅんっ♥
あぁっ♥
なっ
ナニコレ？
ふにっ♥
ハァハァ
ぷるんっ
さわさわ
体が
変わった？


せせせっ
先輩！
何で僕っ
女の子に！
この顔って
確か…
3年の…
パアア
あっゴメンゴメン！
着てるものまで
変えるの忘れちゃったw
女の子が
ブーメランパンツじゃ
サマにならいよねっ
この水着貸して
あげるから
これ着てよ♡
水着って！
それって先輩が
着てたヤツ！


まぁ彼女は
水泳部じゃないけど
これを着れば
悦ぶ人がいるからさw
スッ…
いい？
必ず私の言った通り
にするのよっ
……？
言うとおりにすれば
イイこと起きるわよ…
はぁ…
いないはずの
涼香が
見えたなんて…
重症ね…
私…
えっ…？
えっと…
速水ぶち…
じゃないっ
夏帆っ！


夏帆…
今ちょっと
時間ある？
大事な話が
あるんだけど…
さっ
涼香？
うそっ
なんで？
倉崎先輩に
言われた通りに
しなきゃ…
この前の事…
私酷いこと
言っちゃった…
突然だったから…
びっくり
しちゃって…
ホントは夏帆に
好きって言われて
嬉しかった！
だから
私と…っ！
えっ？
うそ！
くす…
うまくいった
わね…
お疲れぇ～
夏海っ
あれが夏海の
ペット？
そっちの
調子はどう？
フワッ…
あっ小島！
お疲れっ
なーんか
回りくどい事
させてんだね…
いーのっ
あぁやって
いい思いさせとけば
私から逃げないでしょっ
それに
私…
仲良しの
女の子って
大好きだから♡
つづく…